



茶という文化とインタープリテーションはつながる…?

自然科学とインタープリテーション、これは結びつけやすい。しかし、その他の文化的な要素をインタープリテーションと結び付けて考える人はどれほどいるでしょうか。けれども人類史を紐解いていくと、人の作ってきた文化は自然にルーツがあることが見えてきます。例えば、原始宗教儀礼では、鳴り物に石や木、動物の皮を打ち鳴らしてみたり…。世界各国の文化活動の原点には自然が不可欠だったはずです。次号では、日本文化を中心にインタープリテーションと文化の接点を考えていきたいと思います。(若林)

※ホームページでは、随時詳細版を掲載しています。興味のある方は、是非そちらもご覧ください。



秋の森を楽しむ



木々が深い眠りにつく前の「那須平成の森」は、森がもっとも彩り鮮やかになる季節。黄や赤に葉色を変えるブナやカエデ、ツツジ類。深い緑のままのモミノキやアカマツ。樹々の共演が美しい秋は、見て楽しく、紅葉狩りに最適。森の中に入ると、落ち葉の下や朽木からひょっこりとキノコが顔を出し、足元ではコロコロと転がる赤や茶の木の実は迎えてくれます。にぎやかな秋の森を歩いて、お気に入りの楽しみ方を見つけませんか。

那須平成の森基金(サポーターの会)からのお知らせ



■平成29年度基金助成金 進捗状況  
◎NPO法人グラウンドワーク西鬼怒

テーマ:野生下におけるフクロウ(*Strix uralensis*)の繁殖行動調査及び天然木を利用したフクロウの営巣環境を創出する技法の研究

7月21日(金)に、那須平成の森・余笹川東側エリアにて「再生可能な天然木の調査」を行いました。この調査は、落枝や朽木等の自然物を利用し、林内に存在する底が抜けた洞などを塞ぐことによって、フクロウの営巣環境を創出できないかと考え実施したものです。調査の結果、いくつかの再生可能な天然木があることがわかりました。次回は、上部ゾーンに設置している巣箱の再調整と周辺の天然木の調査を実施する予定です。

■平成29年度  
サポーター会員募集中!

当基金では、那須平成の森における取組みを応援して下さる「那須平成の森サポーター」を募集しています。サポーターになると「オリジナルピンバッジの贈呈(今年度のデザインはタマゴタケ)」や、「那須平成の森通信の送付(年4回)」等の特典があります。また、頂いた会費は那須平成の森基金助成事業や那須平成の森、及び那須高原ビジターセンターの運営に使わせていただいております。ぜひ、ご支援をお願いいたします。お問合せ電話番号:0287-76-2589

■お問い合わせはこちらへ  
[那須平成の森の活動内容、プログラムや自然情報については…]  
那須平成の森フィールドセンター  
4月～11月 9:00～17:00 12月～3月 9:30～16:30  
水曜休園 (但し5月・8月・10月は無休、月により臨時休園日あり)  
〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙3254  
TEL 0287-74-6808 FAX 0287-74-6809  
HP <http://www.nasuheiseinomori.go.jp>

[那須平成の森基金・サポーターの会への入会、助成活動については…]  
那須平成の森基金  
日光国立公園那須平成の森基金  
那須平成の森基金事務局(サポーターの会事務局)  
電話:0287-76-2589(平日9時～17時)  
HP <http://www.nasuheiseinomori.jp/kikin/>

[モニタリング調査、那須平成の森の全体計画等については…]  
環境省関東地方環境事務所日光国立公園那須管理官事務所  
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2-2F  
TEL 0287-76-7512 FAX 0287-76-7513  
HP <http://kanto.env.go.jp/>

※那須平成の森にはバスの駐車スペースはありません。バス等の大型車でご利用の方はお問い合わせ下さい。

